

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 片品村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ² 当たり家庭料金(円)
-	87.88	28.61	82.53	1,900

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,928	391.76	10.03
處理区域内人口(人)	處理区域面積(km ²)	處理区域内人口密度(人/km ²)
1,104	0.81	1,362.96

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

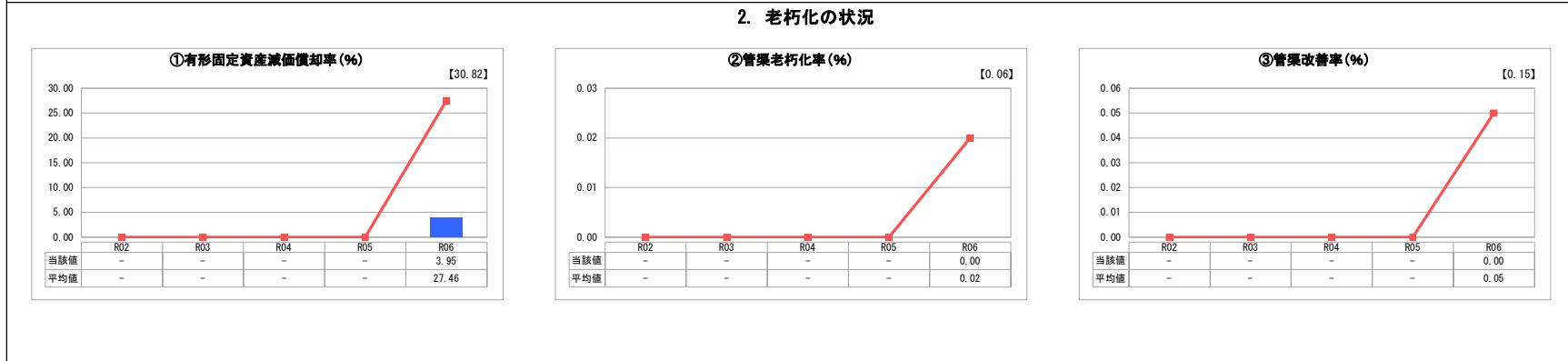
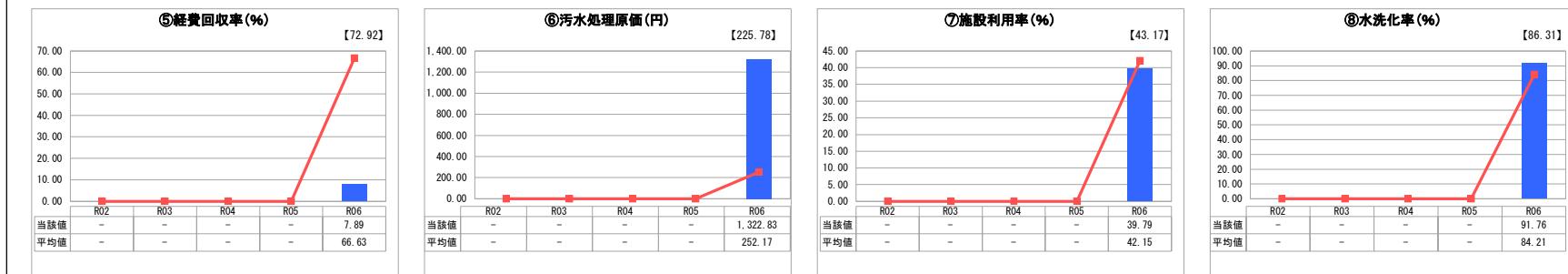
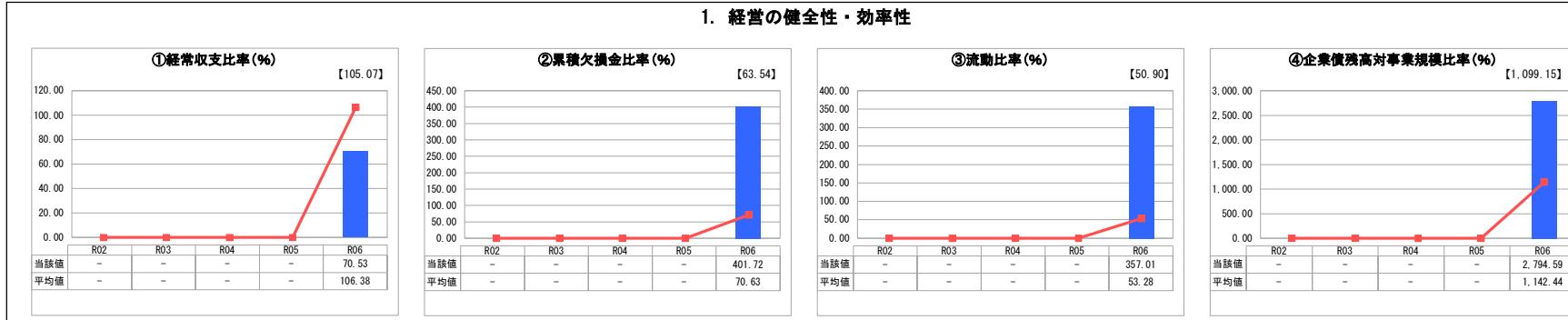
- ①法適用初年度である令和6年度の経常収支比率は、100%を下回っている。一般会計からの繰入金に依存しているため使用料の確保と維持管理費の削減等により、収支の健全化を図る必要がある。
- ②法適用への移行に係る資産整理により欠損金が生じているが将来的には改善が見込まれる。
- ③流動比率は平均値を大幅に上回っているが、一般会計からの補助金の蔵入によるところが大きいと思われる。人口・観光客数の減少により料金収入の減少が発生している。今後、料金改定も視野に入れ企業債残高対事業規模比率の改善を目指す。
- ④下水道処理費用と下水道使用料の関係を表す経常回収率は、平均値を下回っている状況にある。下水道施設の更新投資時期を迎える、機械更新等の下水道処理費用が年々多くなっている。
- ⑤汚水処理原価で見る、汚水処理費用は、多額の減価償却費や有収水量減少等の影響により平均値を上回っている。今後は、維持管理費の削減や接続率の向上を図っていく必要がある。
- ⑥下水処理能力に対する汚泥処理水量の割合を示す下水道の施設利用率は、下水処理人口の減少により低めに推移しているが、季節によって需要変動がある。
- ⑦下水処理区域人口に対する下水道処理人口の割合を示す水洗化率は、平均値より高くなっているものの今後も加入促進の継続が必要である。

2. 老朽化の状況について

- ①令和6年度の法適用に伴い固定資産の取得価格を再評価したことにより、有形固定資産減価償却费率は類似団体平均値を大幅に下回ってはいるが、計画的な更新が必要となる。
- ②管渠老朽化率は0.00%であるが、計画的な更新が必要となる。
- ③管渠改善率は、0.00%と過去5年間で更新実績はないが令和6年から管渠維持管理計画をはじめ、ストックマネジメント計画の調査に着手している。管路自体は比較的新しいので今後はマンホールポンプや高低差のある管渠を中心に調査を行い、計画策定をする予定である。

全体総括

使用料の確保や未収金残高の徴収率の向上、維持管理費の削減等に取り組むとともに、下水処理人口や下水処理需要の的確な把握に努め、建設改良事業、維持管理を計画的に行うこと等により、収支のバランスのとれた健全な経営を目指します。また、効率的な経営体制と施設運用を図るために、事業の見直しや職員の技術水準の向上及び人材育成に努めたい。下水道施設は、衛生的な生活を確保する為の重要な施設です。ストックマネジメント計画については、処理場及び管渠の見直し時期が到来しているので施設状況にあった適切な計画策定を実施していきたい。



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。